

# 企業ネットワークの高信頼化・広帯域化を後押し

アラクサラが10GbE対応コンパクト・ギガビットスイッチ  
「AX2400S/3600Sシリーズ」の出荷を開始

## 企業ネットワークへの 10GbE適用が拡大する兆し

ブロードバンドサービスの普及によるインターネット上のデータトラフィックの加速度的な増加に伴い、通信事業者では10GbE（ギガビットイーサネット）が幅広く適用されている。さらに最近では、企業ネットワークにおいても10GbEの適用が拡大する兆しが見え始めた。10M、100M、1Gbit/sと進化を続けてきたイーサネットが、いよいよ10GbEの時代に向けてドライブしている。

企業において現在、10GbEの帯域幅をすべて使い切るアプリケーションというのは、ほとんどないといえる。しかし、経営インフラとしての企業ネットワークは、高信頼性と高速性、広帯域の接続性を備えたハイパフォーマンスなネットワーク・インフラであることが要求されている。しかも、高密度設計による新製品の登場により、10GbEスイッチ製品の価格が大幅に低下したことが、10GbE適用を加速する大きな要因となっている。

一方で、企業ネットワークへの10GbE適用が拡大する兆しが見え始めたとはいえ、その多くは基幹系であり、フロアや部門、さらには中小規模拠点の構内ネットワークまで

含めて10GbEを適用しているところは、まだまだ少ない。

このようなネットワークの張り出し部分まで含め、高信頼で安全かつ高速で運用性に優れた10GbE環境を実現する製品として注目を集めているのが、昨年9月に発表、12月20日より出荷を開始したアラクサラネットワークス（以下、アラクサラ）のコンパクト・ギガビットスイッチシリーズだ。

## ギャランティー性を保った 10Gネットワークを実現

「ギャランティード・ネットワーク」を企業コンセプトに、主に通信キャリアなどを対象としたルータ／スイッチ製品を提供しているアラクサラは昨年9月、企業ネットワーク向けスイッチラインナップの強化として、MAC-VLANとIEEE 802.1X認証の連携機能を搭載した10GbE対応の1Uサイズのボックス型L2スイッチ「AX2400Sシリーズ」と、L3スイッチ「AX3600Sシリーズ」を発表した。本シリーズは、企業ネットワークにおける高信頼性ニーズの高まりと、10GbE利用拡大機運の顕在化に応えるため、通信キャリア向け製品で培った信頼性・高機能化技術を継承した、中小

規模拠点のコアスイッチとしても活用できる企業ネットワーク向けエッジ製品だ。

新製品の発表にあたって、和田宏行代表取締役社長は、「企業でも、ネットワークの経営インフラ化が進むにつれて、高信頼、安定、安全なギャランティード・ネットワークの重要性が高まっている。現在、基幹系ではそうした製品が導入されているケースが多いが、フロア、部門まで高信頼のものを導入するようにしないと、企業内でのギャランティー性は保てない。これだけの高機能を1Uのボックス型製品で実現したのは当社が初めて。これからも、ギャランティード・ネットワークの実現に向け、通信キャリア向け製品で培った高信頼性と高機能を企業向け製品にも積極的に継承し、順次ライン



AX3630S-24T2X



AX2430S-48T

## ビジネスインフラが主要ターゲット

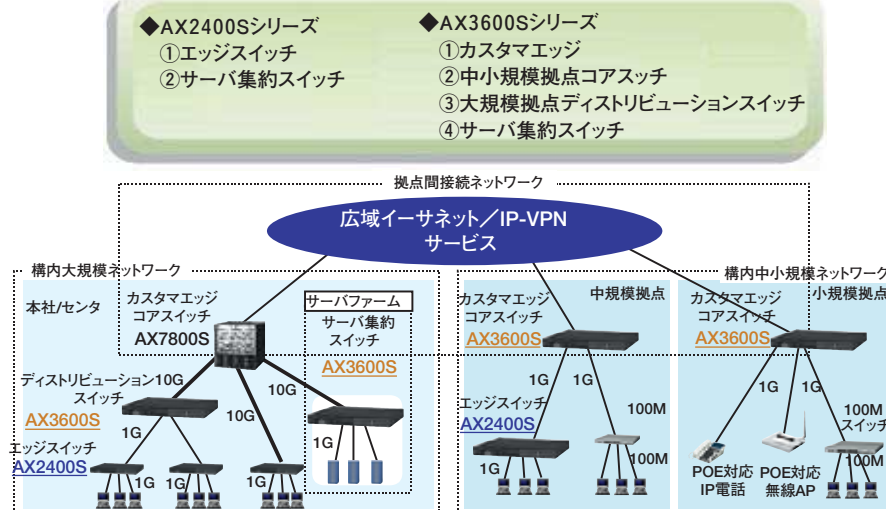


図1 「AX2400S/AX3600Sシリーズ」の利用イメージ

ナップを充実させていく」と述べた。

AX2400S / AX3600S シリーズの最大の特長は、1Uのラックマウントサイズのボックス型スイッチでありながら、IEEE 802.1X 認証と MAC-VLAN の連携機能を装備し、MAC アドレスによる個別認証を可能にしたことと、10GbE ポートを標準で 2 ポート装備 (AX3630S-24T2X / AX2430S-24T2X) している点だ。

IEEE 802.1X 認証と MAC-VLAN を組み合わせることで、複数のエッジスイッチでポート単位に行っていた認証を、1台のスイッチに集約して認証することを可能にしている。なお、アラクサラでは、AX2400S / AX3600S シリーズ及びハイエンドスイッチ「AX7800S シリーズ」のセキュリティ機能である IEEE 802.1X 認証と MAC-VLAN を、マイクロソフト社の提唱する NAP (Network

Access Protection) 技術に対応させるとともに、今後も NAP 技術に対応した機能及び製品を提供していくことを表明している。

## ● AX3600S シリーズ

ハイエンドのコアスイッチである AX7800S 及びミッドレンジのコアスイッチである AX5400S のルーティング技術と高信頼・高機能化技術をボックス型 L3 スwitch に凝縮した製品。IPv4 / IPv6 の高度で安定したルーティング機能に加え、IPv6 環境での冗長化機能をサポートしている。

また、10G アップリンクや PoE (Power of Ethernet) にも対応しているため、企業ネットワークの拠点間接続における中小規模拠点でのコアスイッチや、構内大規模ネットワークでのディストリビューションスイッチ、データセンターのサーバ集約スイッチとして最適である。

## ● AX2400S シリーズ

AX7800S/AX5400S の 10G 対応、高信頼・高機能化技術をボックス型 L2 スwitch に適用した、高度なセキュリティ機能と高いパフォーマンスを実現した製品。IEEE 802.1X 認証と MAC-VLAN によるセキュリティ機能に加え、L2/IPv4/IPv6/TCP/UDP ヘッダを識別することでレイヤ 3 スwitch と同等のパケット・フィルタ機能を実現している。構内ネットワークにおいて AX7800S シリーズとの組合せにより、ハイパフォーマンスで高信頼なネットワークを構築できる。

10GbE 対応の強化として  
新インタフェースボードも発売

一方、通信事業者向けとしても、アラクサラでは、10GbE 対応の強化として、「AX シリーズ」用の新しい 10GbE ボードを製品化し、昨年 9 月より販売している。

製品化したのは「AX7800S シリーズ」と「AX7800R シリーズ」用に最大パケット処理性能を従来比 2 倍に向上させるインタフェースボード「S33-10G4RX」と「RB2-10G4RX」、及び「AX7700R シリーズ」用に 10GbE 収容数を 2 倍 (4 ポート) に向上させる「RE1-10G4RX」の 3 種類である。

10GbE がスタンダードとなる日はそう遠くはないであろう。

<お問い合わせ先>

アラクサラネットワークス(株)  
URL : <http://www.alaxala.com/>